

第2回 横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和5年7月20日(木) 9時00分～13時30分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	長田委員長、加藤委員、川原委員、小堀委員、吉田委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者1人) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 「一般財団法人こうほく区民施設協会」を横浜市城郷小机地区センター第5期指定管理者の指定候補者、「株式会社有隣堂」を次点候補者として選定する。 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事 録	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定(採点・審議)以降は非公開としたうえで、応募団体(4団体)について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。</p> <p>～ 以下、質疑応答の内容 ～</p> <p>(1) 団体A(株式会社 有隣堂)</p> <p>(委員) 自主事業の講師謝金になぜ端数が発生するのか。</p> <p>(応募団体) 源泉徴収を引いた金額を記載しているため。</p> <p>(委員) 自主事業計画に、未就学児向けや子育て支援の内容が少ない。港北区は子育て世代が多いので、どのようなフォローを考えているか。</p> <p>(応募団体) 主なものとして「親子学級うさぎちゃん」「おはなしの部屋(未就学児向け)」がある。そのほか、城郷フェスタでも未就学児向けのイベントを実施している。</p> <p>(委員) 令和6年度収支予算書支出の部について、人件費に社会保険料は含まれているか。</p> <p>(応募団体) 職員である館長と副館長の分は含まれている。スタッフは給与金額が少ないので、社会保険料ではなく別のものに入っている。</p> <p>(委員) 本部事務経費の具体的内容を伺いたい。また、月ごとに定額で発生するものなのか。</p> <p>(応募団体) 本部の地区センター担当者の人件費、労務管理、人事、給与計算等の事務処理経費などを、毎月決まった金額ではないが、月単位で計上している。</p> <p>(委員) 本部の損益計算書のうち、付属営業収入の内容を伺いたい。</p> <p>(応募団体) 地区センターの分は、自動販売機手数料である。本部の分は、他施設の自動販売機手数料や、不動産収入等が含まれる。</p> <p>(委員) 副館長の役割を明確にわけている点が他団体と比べて特徴的だが、この体制をとった理由やメリットを伺いたい。</p> <p>(応募団体) 地区センター等を6館運営する中で、役割ごとに集まり、課題共有な</p>

どを行っている。17年の実績で、このやり方が良いと考えている。

(委員) 地域、サークルとのつながりで得た知見や、今後の狙いを伺いたい。

(応募団体) 地域やサークルの方からは、逆に意見を吸い上げてほしいという要望があるので、今後の地区センター運営に生かしたい。

(委員) 体育室利用区分の水曜日午後①を個人と団体の隔週利用から、団体枠への変更によってなぜ増収が見込めるのか。

(応募団体) 団体利用で1面を貸すと、1か月で約6,000円収入が増える。微々たる差かもしれないが、1年間の積み上げで増収になると考えている。

(委員) 人気企画を知ると、その地域の様子が変わるので、これまで実施した自主事業で、参加者の反応が良かったものを伺いたい。

(応募団体) 「包丁の研ぎ方講座」は、キャンセル待ちやリピーターの方もいる。「体操教室」は参加者の平均年齢が70歳を超えるが、続けて参加することで体力を維持し、別のイベントへ参加する方もいる。また、健康に良い食材を使用した料理教室も好評である。

(委員) 料理室の稼働率は低いが、料理教室は人気なのか。

(応募団体) 自主企画は人気がある。料理サークルは、自分たちで食材の持ち込みや準備をするため、サークルの高齢化も重なり、だんだん減ってしまっている。手ぶらで来て参加できる自主企画が利用者のニーズに合っていると考えている。

(委員) 厳しい質問だが、インターネット上の口コミでクレームを見た。従業員教育について伺いたい。

(応募団体) 利用者アンケートでも、年に1回くらいクレームがある。シチュエーションがわからない場合もあるが、言葉づかいや接遇など、継続して教育していく。

## (2) 団体B (一般財団法人こうほく区民施設協会)

(委員) 自主事業経費の支出が収入を上回っているが、考え方を伺いたい。

(応募団体) 収支で相賄う考えで実施していない。施設のPRも兼ねて、特に子ども向けの事業は子どもの将来も考えて、低廉な金額設定をしておき、超過した分は自己負担している。他の事業についても、材料費や講師料の一部は参加者に負担いただくが、指定管理者の責務として、講座に集まった方々へ新しい出会いを作るといった感覚で実施しているので、なるべく低廉で参加しやすい金額に設定している。

(委員) 提案書の清掃費の予算設定については、施設を安全に清潔に保つ気持ちが伝わるが、委託内容について毎月の業務量や業務範囲、施設スタッフの施設館内の清掃への取り組み方を伺いたい。

(応募団体) 清掃専門のスタッフは配置していない。専門の道具や、この場所はこのように清掃した方が効率が良いというプロの判断があるため、外部の専門業者へ委託している。ワックスがけ等の大規模な定期清掃やお客様がいない間にできないものは月1回の休館日に行い、日常清掃は毎日行っている。施設スタッフは、たとえば利用者が何かをこぼしてしまったなど、開館時に突発的に起こったものに対応している。新型コロナウイルス感染症対策の消毒等も施設スタッフが行っていた。

(委員) 水道光熱費や人件費が高騰しているが、その他の経費をどのように節約する取り組みをするのか伺いたい。

(応募団体) コスト上昇の吸収については、まずは増収を考える。コロナ禍前の平成 28 年度、29 年度は年間の利用者数が 11 万人から 12 万人に迫る状況だったので、そこを目標にしたい。駅前で、バス路線もたくさんあり、近隣住民のご来館が他の施設と比べて 10 ポイントも高い、ポテンシャルのある施設と考えているので、それを生かしてお客様を呼び戻したい。節約に関しては、人財がすべてと考えているので、保守管理費を工夫して節減していく。また、小規模施設では常勤職員の館長は兼務にするなど、手はあると考える。経費節減しても、今の運営水準は維持していく。

(委員) プレゼンテーションに記載のあった、地域特性の区分けについて伺いたい。

(応募団体) 黒い丸はこれまでの地域特性、赤い丸は現状の動きや傾向を示している。地域がこれからこうしないといけない、という動きや気持ちを踏まえて、漫然と施設を開けるのではなく、地区センターが支援していきたいと考えている。

(委員) もともとの地域のサークルとのコネクション強化や、新たな発掘の考え方を伺いたい。

(応募団体) 当団体は、平成 4 年度から独自に地域コーディネーターを置いている。現在は事務局長が地域コーディネーター、各施設の館長がサブコーディネーターになっている。城郷小机地区センターは地域ケアプラザと合築施設であり、地域ケアプラザにも地域活動コーディネーターや生活支援コーディネーターがいるので、まずは城郷エリアに合う方法をケアプラザのコーディネーターの方の知見を学び、合わせて考えて、柔軟に地区センター運営へ反映させたい。

(委員) 「地域と密な連絡をとりながら歩んでいきたい」と読み取ったが、「地域」は非常に大きな範囲を示す言葉なので、具体的に何を指しているのか。また、「密な連絡」については、どういう方法をとってコミュニケーション、アプローチをしていくのかを伺いたい。

(応募団体) 地区センターの運営委員会には、町内会長や青少年指導員、近隣学校長など多様なメンバーが参加されている。運営委員会になるべく多くの方に入ってもらい、人間関係を築き、相談しながら地域のことを教わりたい。

(委員) I T 関連の提案内容が新たに多くある印象を受けたが、これまでの実績で効果を感じた事例や、今後の期待を伺いたい。

(応募団体) この 3 年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で対面が難しかったので、対面しなくてもつながることのできるツールを考えた結果、Twitter をはじめ、I T 関連の導入を進めた。また、費用はかかるが事務ミス対策として漏洩防止のシステムを新たに導入した。提案から少し離れるが、オンラインでの利用登録や何とか Pay の導入についても研究、調査し、時代に合わせた最新のものをメリットデメリットを検討して導入を考えていきたい。

### (3) 団体 C (特定非営利活動法人建物管理ネットワーク)

(委員) 事業計画書にある自主事業計画の横にある数字は何を示しているのか教えてほしい。

(応募団体) 事業計画書とリンクさせて、該当するテーマに分類している。複数のテーマに重複計上もあるので、合計は 79 にはならない。

(委員) 団体の損益計算書を見ると、2022年3月期から2023年3月期で収益が減っている。それに比例して、稼働が縮小したと思うが、直近の決算期で人件費がおよそ50%減っている。減らしたスタッフの雇用形態を伺いたい。あわせて、令和6年度の予算設定について、コロナ禍が明けて外食業界等では人材不足の問題が生じている。もし指定候補者に選定された場合、人材確保はすぐ対応できるのか伺いたい。

(応募団体) 昨年、他区で選定を一つ落としたので、これまで当団体の職員として雇用していたスタッフ分の人件費が減少した。スタッフは、次の指定管理者にそのまま採用してもらった。もし選定されたら、現在勤めているスタッフの方が当団体で継続して勤めていただけるか確認し、不足する場合は新たに採用募集をおこなう。

(委員) 自主事業をたくさん企画いただいておりますが、利用者目線では嬉しいが、講師や協力者のコネクションはあるのか。すべて実現できるのか、心配しているので考えを聞かせてほしい。

(応募団体) ここでご提案したすべての事業を令和6年度から開始することは難しいと考えている。性急におこなうのではなく、地域の方やスタッフと相談しながら、実現していきたい。講師や協力者については、当団体の会員内でもつながりがある。地域の方とも相談して進めていきたい。

(委員) 実際の心づもりとして、どのくらいの実現可能性をみているのか、伺いたい。

(応募団体) 令和6年度は、7、8割の事業を開始したい。一方で「養蜂チャレンジ」などは大規模な事業になるので、時間がかかると考えているが、都会や地方、横浜市でも公園で行うなど養蜂は増えており、現地見学会で屋上を見て、ぜひ活用したいと思った。

(委員) 「地域の方の居場所になる」とあったが、港北区は地域の方々の活動も活発なので、こうした団体とどのようにコネクションをとっていくかが重要だと思っている。この点について基本的な考え方をもう少し伺いたい。

(応募団体) 地域の方々でも色々な活動をされている方がいるので、連携をとりながら進めていきたい。小机駅の周辺には喫茶店等が少ないように感じたので、「おいしい地区センター」シリーズなどをおとして、地域団体と協力しながら、軽い飲食を提供したいと考えている。

(委員) 調査をする中で、興味をもった具体的な団体があるかお聞きしたい。

(応募団体) 「たまりBAこづくえ」「ホッとカフェ」と連携できたら良いと考えている。

(委員) 「子ども食堂」は安い参加費だが、材料費や人件費の見立てをお聞きしたい。また、小机地区の農家との連携は考えているのか、スタッフはどのような方を想定しているのかあわせて教えてほしい。

(応募団体) 近隣農家と連携して、安く材料を仕入れて、廉価または無料で提供して子どもたちのたまり場になりたいと考えている。当団体のアドバイザーを中心に、協力団体と相談しながら進めたい。

(委員) 会議室利用促進の展望について伺いたい。公開情報を見て、気になった点はあるかお聞きしたい。

(応募団体) 料理室や和室の稼働率上昇はどの地区センターも苦勞している。料理室は子ども食堂等で活用し、和室も和楽器等の自主事業を増やして活用したい。いずれも自主事業を使って、盛り上げていきたい。

(4) 団体D (労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団)

(委員) 自主事業は地域の人を地区センターへ呼ぶきっかけになると考えているが、令和6年度収支予算書をみると自主事業収入の数字が消極的に感じるので、考え方をお伺いしたい。

(応募団体) 選定された場合、城郷地区の指定管理は初めてで、地域ニーズや参加料の相場が分からないので控えめに設定した。また地区センターへ来てほしいので、安めに設定した面もある。指定管理2年目以降に変更していきたい。

(委員) 本部事務経費の業務内容を伺いたい。現場スタッフへ委託可能な内容はあるか、あわせて教えてほしい。

(応募団体) 本部事務経費は指定管理料の一定割合を目安に計上している。当団体は全国組織なので、税計算等の事務手数料や、情報交換の場の費用、万が一の事故対応があった場合もこの経費を使う。現在はこの体制をとっているが、現場への転換は今後検討していきたい。

(委員) 本部の決算報告書に未払金があり、財産目録をみると特定団体に大半が集中している。差支えない範囲で、内容を教えてほしい。

(応募団体) 他団体への未払金ではなく、同じ企業間のもの。当団体はグループ内に3部門の法人格を有しており、その法人間の立替金や未払金が計上されている。法人移管する3年後には、解消される予定。

(委員) 人員体制について念のため確認したい。プレゼンテーションでは常勤の館長補佐が3名とあったが、「賃金スライドの対象となる人件費に関する提案書」では2名とあり、どちらが正しいか教えてほしい。

(応募団体) 館長補佐は2名が正しく、プレゼンテーションが誤っていた。

(委員) 地区センターは地域の拠点としての役割があると考えているが、初めて城郷地区を担当するに当たり、地域特性をどのように考えているか、実感をお聞きしたい。

(応募団体) 日中は人があまり出歩いていない印象をもった。高齢者が増える一方、新しく転入もあるので、うまく交流が出来るかという点と、これから高齢者が地域でどのように活躍していくかがポイントだと思う。特にサラリーマン世代の男性が定年を迎えたあとのいわゆる「地域デビュー」が難しく、一人一人はやりたいことがあって自分の力を活用したいという意見も他施設を運営する中で多いので、活躍の場を提供することで安心安全な地域になっていくと考えている。

(委員) 他施設の運営実績のうち、サークル化をサポートした経験について詳しく伺いたい。

(応募団体) まちづくり講座という、地域の色々な人の思いを出してもらい、課題を見つける場がある。色々なグループからの意見を集約し、当団体が主導するのではなく、できることをみつけて、実現のお手伝いをしている。

(委員) 自主事業計画書をみると、高齢者や男性向けの企画が多い印象を受ける。

港北区は子育て世代が増えているが、子育て世代向けの講座が少ない印象なので、考えを教えてほしい。

(応募団体) 指定管理初年度である令和6年度は、当団体を知ってもらうため、当団体の得意分野を生かした高齢者向けの講座を多く企画している。現在人気のある企画はできれば継続して実施したいので、余裕をもった計画にしている。ニーズは発掘していくものと思っているので、自主事業の開始も6月から8月を想定している。

## 2 指定候補者の選定

(1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書からすべての応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるかどうか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。

### (3) 採点結果

委員による採点を集計した結果、次のとおりとすることを決定した。

なお、すべての応募団体が最低基準点 465 点を満たした。

	団体名	採点結果
指定候補者	一般財団法人こうほく区民施設協会	655 点
次点候補者	株式会社 有隣堂	598 点
第3位団体	労働者協同組合ワーカーズユープ・センター事業団	541 点
第4位団体	特定非営利活動法人建物管理ネットワーク	525 点

(4) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。

そ の 他  
特 記 事 項